

## 硫黄代謝ホメオスタシス “分解”されて働く植物代謝産物

### 平井 優美 先生

理研環境資源科学研究センター  
代謝システム研究チームチームリーダー



日時：2022年9月7日（水）

16:00 – 17:30

方法：理農館SA329でのオンサイトおよびZoomによるオンライン  
言語：日本語

申込：<https://forms.gle/dRY82SYxWpNFUYwm8>

（下のQRコードからも申込できます。オンサイト参加の方は申込不要）

動物の代謝と対比すると、植物の代謝の特徴は「複雑な化合物を”合成”すること」にある。しかしながら、それ故に、植物の“分解”代謝の重要性にはあまり目が向けられてこなかった（ような気がする）。私たちは最近、硫黄を含む代謝産物であるグルコシノレートとグルタチオンの”分解”経路や“分解”酵素を明らかにした [1, 2]。本セミナーでは、植物の硫黄代謝の一端を題材にして、合成vs分解、一次代謝vs二次代謝（特化代謝）という単純な対比を超えた代謝産物の多機能性についての話をしたい。

1. Sugiyama, Li et al. (2021) PNAS, <https://doi.org/10.1073/pnas.2017890118>

2. Ito et al. (2022) Plant J. <https://doi.org/10.1111/tpj.15912>



**GTR**  
Nagoya University



Nagoya University  
Graduate School of Bioagricultural Sciences  
School of Agricultural Sciences

問合せ先：榊原均（[sakaki@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:sakaki@agr.nagoya-u.ac.jp)）